

## 会長メッセージ

冬季オリンピックが開催され、メダルに一喜一憂させられておりますが、もっと大事なことがあるのではないかと感じております。メダルは結果で、それに至るまでの努力を大切にしたいと思います。

弓道における昇段・昇格も同じではないでしょうか。その過程が大切です。そして、その経験をどう生かしていくかが、大事なことではないでしょうか。

ふと、テレビを見ながら、そんなことを考えていました。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

## ◆ 橿原神宮建国記念祭奉祝百々手式の執行

平成26年2月2日（日）に橿原神宮前庭において標記の行事が開催されました。

当日は雨との天気予報、曇り空で心配されていましたが、9時ころには、前夜の雨の水たまりを避けながら、降らないことを祈りながら、準備を始めることができました。

この行事は、昭和42年に建国記念の日が制定されたのを機会に、橿原神宮の建国記念行事の成功を祈り、執行されたと聞いています。当時、奈良県弓道連盟の会員はすべて小笠原に入門しており、小笠原流に則り、大的式や百々手式など行われていました。こうした歴史の中、現在も小笠原御宗家をお迎えし、近畿各地から同門の方々のご協力により続けられております。



(右上へ)

行事の始まる頃には、薄日もさし、多くの見学者のなか無事執行されました。

10：40 着装の後、整列、道場から神宮まで参進

11：00 正式参拝

11：30 幕目の儀（小笠原清基若先生）

百々手式（前弓10名、後弓10名）

13：00 直会（橿原神宮齋館）

奉仕者内訳：岐阜県4名・徳島県3名・三重県4名・京都府2名・大阪府5名・奈良県22名

今年は、例年になく暖かい気温となり、厳かな雰囲気の中、的中率もよく、見学者たちからは盛大な拍手が送られていました。

準備や矢取などお世話いただいた方々、また、橿原神宮の方々に対し厚くお礼申しあげます。

毎年、毎年の積み重ねが、伝統を引き継いでいくということになりますので、これからもご協力よろしくお願いたします。（新司正人）

## ◆平成25年度 百射会

平成26年1月19日 橿原公苑弓道場において百射会を実施しました。男子33名、女子では21名が登録し当日を迎えました。体調が思わしくなかったのか、男子では5名、女子では3名が欠席となり競技がスタートしました。

自治会行事を終えて途中から参加した者、逆に午前中は参加し、午後から帰宅した者があったものの、男子では23名が、女子では12名が100射を引き終えました。

結果は

男子の部

第一位

今西 達也（五條）86中

第二位

山口 亮二（生駒）79中

第二位

辻本 元威（香芝）79中

女子の部

第一位

奥戸 由美（郡山）66中

第二位

松澤 和美（奈良）65中

第三位

東中 千佳（橿原）61中



◆平成25年度県高等学校新人大会兼学年別弓道大会

2月8日(土) 南部校・2月9日(日) 北部校

場所: 橿原公苑弓道場

3人立・立射・各自4射 団体戦・個人戦

南部

1年女子 団体戦

①高田商業A(弥富舞羽, 松本渚, 渡邊鞠子)②橿原A(久保沙綾, 吉村彩香, 伏見望)③五條A(喜多明優美, 久保杏佳, 新田瑞穂)

個人戦

①渡邊鞠子(高田商業)②伏見望(橿原)③和田真理子(橿原)

1年男子 団体戦

①五條A(福岡諒人, 辻本佳己, 櫻井蓮,)②王寺工業A(安達慶祐, 鈴木隆仁, 高橋尚史)③畝傍B(木下総一郎, 高木樹, 山田彗史)

個人戦

①今村友哉(青翔)②中山将利(橿原)③辻本佳己(五條)

2年女子 団体戦

①王寺工業A(栗田晶捺, 葭川奈実子, 成瀬茉樹)②五條A(明石恵実, 川西有里菜, 明石実彩子)③桜井A(中村理乃, 山崎里恵, 大橋ちひろ, 杣出紗理)

個人戦

①西川佳那(橿原)②明石恵実(五條)③葭川奈実子(王寺工業)

2年男子 団体戦

①王寺工業A(米田昂史, 生田晃樹, 吉村誠矢)②青翔A(堀航太, 山口拓也, 東司, 古河元基)③高田商業A(西井啓祐, 三並朗, 田中貴寛)

個人戦

①堀航太(青翔)②高尾晃平(畝傍)③岡山慎之介(榛生昇陽)

3年女子 団体戦

①青翔A(目見田楓, 豊島彩香, 増谷綾香)②高田商業A(前田知明, 平松麻奈)③榛生昇陽A(石田絵理, 目莉奈, 中谷真美)

個人戦

①前田知明(高田商業)②増谷綾香(青翔)③石田絵理(榛生昇陽)

3年男子 団体戦

①高田商業A(福岡良剛, 藤本凌介, 當麻直哉)②王寺工業A(杉井邦彦, 吉村和真, 今西達也)③高田商業B(廣石章人, 大古凌也)

(右上へ)

個人戦

①當麻直哉(高田商業)②福田圭珠(榛生昇陽)③今西達也(王寺工業)

北部

1年女子 団体戦

①郡山A(水谷友香, 杉岡みな子, 榎園さおり, 林芽生)②奈良D(丸尾せり, 宇野綾花, 小西ひとみ)③平城G(伊藤ゆり, 長嶺菜摘, 的場帆花)

個人戦

①浦芹香(磯城野)②伊藤ゆり(平城)③夏秋真奈(平城)

1年男子 団体戦

①平城D(西原薫, 杉本直也, 竹本怜平)②奈良E(堀内遊宇, 成田悠司, 志野僚亮)③奈良高専A(野瀬大資, 大矢直樹, 登尾将樹)

個人戦

①登尾将樹(奈良高専)②西原薫(平城)③竹本怜平(平城)

2年女子 団体戦

①磯城野A(藤本佳子, 山中咲季, 成井如子, 笹川明希美)②登美ヶ丘A(村上朱里, 奥山真己子, 佐伯茜子)③平城D(寺村明莉, 三浦真奈, 大石萌)

個人戦

①山下莉央(郡山)②成井如子(磯城野)③大久保佑香(奈良)

2年男子 団体戦

①奈良B(玉井隼輔, 谷本真哉, 小川景矢)②奈良E(鶴見直生, 小林亮, 橋本凌)③奈良北A(野中風沙, 松川岳嗣, 佐藤宏樹)

個人戦

①藤本大地(法隆寺国際)②松川岳嗣(奈良北)③小川景矢(奈良)

3年女子 団体戦

①西の京A(本莊恵利, 税所ひかる, 鈴木佳奈)②磯城野A(平祐実, 中西梓, 前瑞保)

個人戦

①門田奈由(西和清陵)②鈴木佳奈(西の京)③税所ひかる(西の京)

3年男子 団体戦

①法隆寺国際A(岡田康佑, 岩崎郭生, 永島大暉)②磯城野A(山田颯, 藤平弥沙斗, 高木直人)③奈良高専A(池田裕一, 横川浩平, 能見哲道)

個人戦

①高木直人(磯城野)②横川浩平(奈良高専)③澁谷倫太郎(西和清陵)

(高体連)

## ◆ 大学連合講習会

2月9日、奈良市立弓道場において、県内7大学合同の講習会が33名の参加を得て実施されました。

この講習会は吉本会長が会長に就任した時に、中学、高校、大学と一貫した指導が必要という考えから始められたので、今年度で9年目になります。その当時から大学へ外部指導者として指導に当たっていた県連の方達で主任講師を務めてこられました。来年度からは会長が交代することによって存続するか否か、また、内容や講師をどうするかの見直し時期にきていると思います。

講習会は9時半に始まり、午後4時50分までびっしりと実施されました。それほど学生達の熱心な受講態度で寒さを感じさせないほどの雰囲気と、主任講師を含めた指導部4人の先生方に加えて、県連の新司、深田両副会長の助けを得て、内容の濃い講習会になったことがそうさせたと思います。特に、新司、深田両氏は大学へ指導に赴いておられるので、最後まで熱のこもった指導で、私達指導部も大いに助けられ、学生にとっても充実した講習会になったのだと思います。両先生、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

講習会は主として、弓道の眼目と心構えについて主任講師（西浦指導部長）から話があり、その後、基本体と基本動作について徹底した指導が行われました。最後の6個で6名の先生方の射技指導を休憩もなく、時間を延長してギリギリまで行い、講習会を無事終了しました。（指導部）

## ◆ 第43回近畿教職員弓道大会

平成26年2月11日檀原公苑弓道場にて、近畿各府県から65名の教職員が参加し、標記大会が開催されました。吉本会長の挨拶、矢渡しの後競技開始となりました。奈良県からも男子4チーム、女子2チームが参加し、拡声器の声もあまり聞こえず、参加者は弓を楽しむことができました。

奈良県チームは団体戦で男女とも優勝（男子：矢野有吾・奥田章人・井戸上博一、女子：小西徳子・明崎静代）、また、個人戦においても矢野有吾さんが優勝、奥田章人さんが3位に入賞されました。

おめでとうございます。



## ◆ U-15強化練習会（中体連）

12月7日、14日、21日、1月11日、12日の5日間、香芝中学校、檀原中学校の弓道場および檀原公苑弓道場においてU-15強化練習会を行いました。各中学



校から4名の選手を選出し、指導部西浦範光先生をはじめ、指導部の先生方、国体強化選手の方々に体配、射技指導や弓具の取り扱いなど様々な指導をしていただきました。中学生も普段の練習とは一味違う雰囲気を味わうことができたようで、先生方の指導に対しても一生懸命に応えようとしていました。大変寒い中の練習会にも関わらず、中学生の為にご尽力下さいました、西浦先生はじめ諸先生方、本当にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

以下は参加生徒の感想です。

『U-15強化練習を終えて』

八木中学校1年 木岡達郎

僕はまず、指導して下さいました先生方にとっても感謝しています。自分が知らなかった弓の手入れのしかた、体配、射技等を丁寧に教えて下さったからです。これらのことはこれからの練習や試合にとっても役立つことばかりなので、しっかり意識していきたいです。特に印象に残ったのは、西浦先生が最後におっしゃった「早気は行射が終わったあとに悔いが残る」という言葉です。確かに「伸合い・詰合い」を意識する前に離れてしまうということは、会でまだ全てを出し切っていないときに離れていることです。それで負けて悔やみたくないで、少しずつでも会をのばしていきたいです。また、この練習会では、高段者の先生方や国体の選手の方々が間近で行射して下さいましたので、これもよい経験になりました。先生方の射を見ると、自分はまだまだだと思いますが、あのように行射したいという憧れもできてよかったです。先生方、本当にありがとうございました。

（報告：中体連 藤原）

## 編集後記

厳しい寒さが続きますが、寒さに負けることなく、体をいたわりながら弓を引き続けたいものです。

通巻144号

平成26年2月号No4

# 奈弓連だより

発行 奈良県弓道連盟

会長 吉本清信

編集 担当 土谷尚敬